

【別添2】

令和5年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

| I 自己評価 | | 岐阜県立岐阜総合学園高等学校 | | 学校番号 | 7 | |
|-----------------|--|---|--|----------------------|--|-------------------------|
| 1 学校教育目標 | 自ら学び続ける意欲と態度を養い、知・徳・体の調和のとれた心豊かな人間を育成する。 1 主体性を重んじ個性を伸ばす総合学科の特色を生かし、自らの可能性を引き出す力を育てる。 2 自己を正しく理解し、自己実現を図るための、人生設計力を育てる。 3 実践的活動を通して、自主性・創造性を養い、健康な心身を育てる。 4 社会の一員としての役割と責任を自覚し、他を思いやる友愛の心を伸ばし、たくましく生きる力を育てる。 | | | | | |
| 2 スクール・ポリシー | 『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー (GP) | 『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー (CP) | 『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー (AP) | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 主体性をもって課題解決に取り組み、自らの可能性を引き出す生徒 自己を正しく理解し、自己実現を図るための人生設計力を身に付けた生徒 実践活動を通し、自主性と創造性、健康な心身を兼ね備えた生徒 他人を思いやる友愛の心をもち、社会で生きる力を持った生徒 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人の特性に応じた学力の伸長を図り、深い学びを実現するため、カリキュラム編成と、ICTなどを活用した創意工夫の授業展開 総合学科における専門教育とキャリア教育を通して「主体性・思考力・協働性」を養う授業の実施 「凜として美しく」をモットーに、学校生活の充実を図ると同時に、個々の進路実現に合わせた教育活動の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 向上心を持ち、どのようなことに対しても主体的に学ぶ姿勢がある生徒 自ら様々な課題を発見・分析でき、適切な計画を立ててその課題に取り組める生徒 他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができる生徒 他者と協力しながら、社会に貢献しようとする思いがある生徒。 | | | |
| 3 現状の分析 | ○多くの生徒が意欲的に学校生活を送り、学習や部活動に熱心に取り組んでいる。 ▲総合学科単独校として、教育活動やキャリア教育、進路支援の在り方に関する研究と連携の推進が必要である。 | | | | | |
| 4 学校の抱える課題 | <ul style="list-style-type: none"> 授業や校務におけるICTの活用が遅れが見られる。 進路選択を主体的に行えない生徒が増えており、「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」、系列選択のための指導について改善が必要である。 欠席、遅刻、早退が増加傾向にあり、心に不安を抱える生徒が増えている。 | | | | | |
| 5 今年度の具体的な重点目標 | ◇総合学科の強みを生かした特色ある教育活動を実践し、教育目標を実現するために、教員の指導体制を改革し、教育課程・キャリア教育の再編成、授業改善を実施する。 | | | | | |
| 年 度 目 標 | | 年 度 末 (途中) 評 価 | | | | |
| 6 評価項目 領域・分野 | 7 重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策 | 8 達成度の判断・ 判定基準あるいは 評価指標 | 9 取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等 | 10 評価 A・B・ C・D | 11 成果と課題 | 12 総合 評価 |
| 学習指導・ 教育課程 | ①「充実した授業」「規律ある学校生活」を指導の基本におき、毎日の授業や部活動指導を通して、調和のとれた生徒の育成を図る。 | ①授業態度や資格取得・コンテスト、部活動の参加状況とその成果。 | ①1年次の産業社会と人間を踏まえ、2年次からは、自身の進路に合わせた授業選択により、充実した授業に取り組んでいる。系列によっては資格取得やコンテストの出品に積極的に取り組んでいる。 | B | ○資格取得による単位取得やコンテスト出品の受賞等、系列ごとに成果が出ている。 ○部活動が盛んで、規律ある学校生活の充実が取れている。 ○相互参観授業では、例年より多くの教員が参観した。各自の教科に取り入れたい実践もあり、非常にいい研修になった。 | A B C D |
| | ②相互参観授業、生徒による授業評価、研究授業・授業研究会、ICTを活用した授業勉強会等を通して教師が授業改善および教科指導力 | ②生徒による授業アンケートの結果。 | ②10月に実施した授業アンケートは7割近い回答率で、評価についても5点満点中平均4.4と高い評価である。 相互参観授業は、研究授業も含めテーマ | | | |

| | | | | | |
|------------------|---|--|--|----------|--|
| | <p>の向上を図り、生徒の深い学びを実現する。</p> <p>③学びのPDCAサイクルの構築による基礎学力の構築</p> | <p>③「スタディーサポート」「スタディサプリ」を利用し、学力推移及び学習習慣の変化変容について数値化して評価する。</p> | <p>別に3回、対話的・主体的でICTを活用した授業を実施した。</p> <p>③スタディサポートの結果をもとに振り返り問題を解いた。スタディサプリを各教科の授業や長期休業中課題として実施し、学習時間の可視化を行った。</p> | <p>B</p> | <p>▲授業評価は高い評価ではあったが、授業改善につながる生徒からの意見も多数あり、生徒の深い学びを実現できるように取り組んでいきたい。</p> <p>▲来年度に向けて、外部模試の見直しを図る。</p> |
| 探究活動・キャリア教育・進路指導 | <p>①課題を発見する力、課題解決に向けて考え抜く力を身に付ける。主に「産業社会と人間」と「総合的な探究の時間」の職業・社会理解フィールド・教科授業で実施する。</p> | <p>①探究活動や実習授業、職場体験などの事後アンケートや感想、自己評価の結果。</p> | <p>①夏休み中の企業見学やオープンキャンパス参加について、レポートを書くことで比較検討できるようにし、進路意識の向上を図った。</p> | <p>B</p> | <p>○オープンキャンパスへの参加について、部活動を妨げないよう、夏休みだけでなく6月から11月の半年間に期間を広げた。これにより希望する上級学校の見学が可能になった。</p> <p>○「産社」の内容を精選し、指導しやすく効果的な指導計画となった。</p> <p>▲「探究」についても「産社」とのつながりをふまえて内容の検討と精選を図っていく。</p> <p>▲優良企業の求人が多くある就職の魅力さをさらに伝える必要がある。</p> |
| | <p>②「産業社会と人間」の職業インタビューとライフプラン作成、「総合的な探究の時間」や系列専門教科の実習授業、系列による職場体験やボランティア活動で実践型の活動を実施する。</p> | <p>②探究活動や実習授業、職場体験などの事後アンケートや感想、自己評価の結果。</p> | <p>②職業人インタビューや系列での課外活動で地域の方々と積極的に関わることで、知りたい情報を得て、それをレポートにまとめることができた。</p> | <p>B</p> | |
| | <p>③3年次との連携を密にし、生徒によりそいつつ丁寧な進路指導を実践する。</p> | <p>③就職内定率100%を維持。進学者の第一志望校合格率85%以上を目指す。</p> | <p>③求人数も豊富で就職は100%を維持。進学者の第一志望校合格率85%も達成できた。</p> | <p>B</p> | |
| 生徒指導・教育相談 | <p>①集会やホームルーム活動等のあらゆる機会に、遅刻や欠席数の削減・交通事故防止・危機管理の自覚を促す。生活委員会・交通安全委員会を充実させ、生徒からの啓発によるマナーの向上を目指す。</p> | <p>①交通事故件数・交通マナー違反の発生状況。盗難・いじめ・いたずら等の問題行動の発生状況。遅刻者数・欠席者数の状況。</p> | <p>①全国・県民交通安全運動および交通安全の日を設け、登校時の交通安全指導を行った。交通安全委員による全校放送（昼休み）で啓発活動を実施した。年次会・教育相談係・保護者等と連携し、問題行動等の早期発見に努めた。遅刻・欠席者数についても、具体的な数値を示し、HRで注意喚起を実施した。</p> | <p>B</p> | <p>○交通事故は昨年の18件から今年度は8件と半数以下に減少した。交通マナー違反も減っている。</p> <p>○悩みを持った生徒に対して、教育相談を中心にきめ細かな指導がされている。</p> <p>▲遅刻・欠席が増加している。学校の根幹でもある授業を大切に指導が必要である。</p> <p>▲ヘルメット着用率が上がっていない。</p> <p>▲自らが考えて行動する資質の育成のため粘り強く継続指導をしていきたい。</p> |
| | <p>②全校一斉点検や校門付近でのMSリーダーズなどの生徒や職員による交通安全指導を実施する。</p> | <p>②一斉点検の検査結果と再点検の状況。MSリーダーズの活動状況。</p> | <p>②全校一斉点検を4回実施。身だしなみについて自ら考え、各自の状況により適切な行動がとれるよう指導した。交通安全運動やヘルメット着用の日を設け啓発活動を実施した。</p> | <p>C</p> | |
| | <p>③生徒一人一人をより深く理解するために、職員間の情報共有を迅速に実施し、生徒によりそった指導・支援を行う。</p> | <p>③担任、年次会、教育相談係、部顧問、外部機関、保護者との連携。</p> | <p>③生徒理解のための生徒指導職員研修会を実施した。また、毎月の職員会議後に生徒の情報交換を実施した。</p> | <p>A</p> | |

| | | | | | |
|--------------|--|--|--|---|--|
| | また、生徒の教育相談にきめ細やかに対応し、粘り強く支援する。 | | アンケート結果をふまえ、担任と連携し、心の悩みを持つ生徒に対し、教育相談室、保健室、S Cを中心に対応した。 | | |
| 特別活動 | ①総合学科の特色を生かし、授業・部活動・生徒会活動やさまざまな課外活動に生徒が主体となって積極的に参加することにより、生徒の自主性や創造性を育てる。 | ①生徒・保護者による学校アンケートの結果および各行事後のアンケートの結果。 | ①生徒主体による学校行事の企画・運営や式典、学校行事、壮行会等の司会進行を行った。アンケートでは、80%の生徒が生徒会活動は活発であると回答している。また保護者、生徒の多くが特別活動への理解を示し、主体的な参加が行われていると回答している。 | A | ○生徒一人一人が、学校行事委員会活動、部活動等の活動において主体的・積極的に取り組み、学校の活性化の源となった。 ○各行事では生徒会・委員会が中心となり生徒主体となって企画・運営を行えた。 ○多くの生徒が意欲的に部活動に取り組んでいる。また複数の部が全国大会、東海大会で活躍した。 |
| | ②ホームルーム活動では、正しい倫理観と奉仕する心を身につけ豊かな情操と道徳性の育成を図る。 | ②生徒による学校アンケートの結果。教師による観察やチェックリスト、生徒自身の各種記録の活用。 | ②アンケートの結果から85%の生徒がホームルーム活動に意義を感じている。 | B | ○多くの生徒が意欲的に部活動に取り組んでいる。また複数の部が全国大会、東海大会で活躍した。 |
| | ③部活動では、自主的・意欲的な活動によって学校生活を充実させるとともに、心身の調和のとれた発達と良好な人間関係を醸成する。 | ③生徒・保護者による学校アンケートの結果。部活動の加入状況、参加状況とその成果。 | ③部活動の主体的な取り組みができています。部活動の加入率85%、継続率92%。 | B | ▲帰属意識の向上、奉仕する心の育成、活動のより明確な目的意識の向上を図る。生徒会活動における全校生徒の協力をより強固にし、生徒の主体的活動を推進する。 |
| 保健厚生・安全管理 | ①各種健診や健康教育・保健体育等の授業や行事、研修などの教育活動全般を通じて自己の健康を管理する能力を育成する。 | ①新体力テスト結果、保健室利用状況。 | ①新型コロナやインフルエンザ等、感染症対策を継続した。3年ぶりとなる生徒対象の救急救命法講習会を実施した。 | B | ○保健室の利用は、年々増加傾向であるが、丁寧に対応できた。 ○救急救命法講習会などの研修を行い、効果を確認できた。 |
| | ②全員掃除の実施に伴い、環境美化に対する主体的な意識を高める。 | ②活動状況 | ②昼に全員掃除を実施し、掃除箇所を増やし一人の職員が複数箇所担当した。ボランティアによる学校周辺清掃を行い、主体的な奉仕作業を行った。 | B | ○全員掃除を実施し美化に努めるとともに、生徒が自主的に清掃する姿がみられるようになった。また、ボランティアによる学校周辺清掃など、主体的な奉仕活動を行った。 |
| | ③命を守る訓練などによる防災意識や安全点検等を通して、安心して生活できる環境づくりを行う。 | ③アンケートによる評価 | ③自衛消防組織の研修会および訓練を実施した。命を守る訓練では、生徒への予告はせず、実際の災害により近い状態で行った。事後のアンケートにより、改善点を明らかにすることができた。 | A | ▲新校舎の適切な掃除割り当てや方法を検討する。 |
| 保護者との連携・広報活動 | ①PTA役員・進路指導委員会・同窓会役員による3年次生の就職希望者面接指導を実施。 | ①保護者、PTA役員の参加状況、感想。 | ①3年次生就職希望者の面接指導を同窓会・PTA役員合同で実施。 | A | ○3年次生面接指導は緊張感のある中で行われ、生徒の進路志望の実現につながった。 |

| | | | | |
|---|--|--|----------|---|
| <p>②各種運営委員会を実施し連携を図る。また生活指導委員会と生徒交通安全委員の合同による登校時における挨拶および交通指導を実施する。</p> | <p>②保護者、PTA役員の参加状況ならびに生徒、教員との連携状況。</p> | <p>②PTA役員合同交通安全指導を3日間2回実施。 PTA総会をオンライン開催。 PTフォーラムは動画を作製し配信。さらに校HPにも掲載した。</p> | <p>B</p> | <p>○各保護者行事をオンラインで開催できた。 PTフォーラムは動画を配信し視聴してもらった。動画を1週間掲載した点については保護者に好評を得た。</p> |
| <p>③地域に本校の情報をより多く発信し、本校の魅力を伝える。</p> | <p>③ホームページの更新回数。</p> | <p>③総合企画部から、ホームページの更新を依頼したり、デザインを変更して見やすくしたり、中学生向けに情報発信を増やす等、これまでにはない取り組みができた。</p> | <p>B</p> | <p>○ホームページの更新が頻繁に行われ、本校の教育について発信することができた。 ▲より学校の情報を伝えるため公式SNSの開設を検討したい。</p> |

学校関係者評価

実施年月日：令和6年1月17日

- ・総合企画部をはじめ、地域連携を推進し、生徒が中心となって積極的に本校総合学科の魅力を発信しており、本校の魅力が中学生や外部に伝わっている。
- ・交通事故の激減については、先生方の指導の成果ですばらしいが、生徒の安全面について、高校生がスピードを出して走っていて危ないという声が地域からあがっており、今後も指導をお願いしたい。
- ・この先どうなるか分からないブーカの時代、こうして生徒達が自ら考えて行動を起こしていくことで、コミュニケーション能力や生きる力がついてくる。それぞれの生徒が居場所を作りつつ、精一杯力を発揮できるようにしていただけるとよい。

13 来年度に向けての改善方策案

- ・授業改善や生徒理解のための研修を計画的に実施する。
- ・効果的なキャリア教育のために、進路指導部・総合企画部が中心となり、「総合的な探究の時間」や進路実現のための指導方法および内容の改善を図る。
- ・生徒会活動やHR活動、部活動、ボランティア活動を活性化し、生徒の帰属意識と主体性の向上および奉仕する心の育成を図る。
- ・生徒が主体となって、交通安全やヘルメットの着用率向上のための活動を継続的に実施する。